



No.258
2022.9.4

四季報

発行
藤沢探鳥クラブ
〒251-0038
藤沢市鵜沼松が岡 5-13-13
藤山方 0466-25-1817



チュウシャクシギ (2022年5月東京港野鳥公園) 撮影: 嶋岡 章

<9月例会>

9月18日(日)

弘法山探鳥会

(急な登り坂あり) ※雨天中止

残暑の中、川の縁を歩きキセキレイ、カワセミ、山に入りメジロ、ヤマガラ、山頂までの鳥や草花を楽しみながら探鳥会を行います。頂上でサシバや猛禽類の渡りが見られるかも。

集合 JR平塚駅東改札口 8:30 平塚駅北口 8番バスのりば 8:40 発 秦野行バス 河原町下車
(参考) 熱海行 戸塚 8:04 大船 8:10 藤沢 8:15 辻堂 8:19 茅ヶ崎 8:23 平塚 8:27

持ち物 観察用具、弁当、飲み物、雨具等

解散 現地 14時ごろ

担当・問い合わせ

嶋岡 0466-50-5816 谷 0466-34-0381

<10月例会>

10月16日(日)

寺家ふるさと村周辺探鳥会

(やや丘陵) ※雨天中止

まだ暑さが残る頃、里山の季節の移り変わりを感じながらゆっくり歩きましょう。

集合 8:15 小田急藤沢駅改札口

藤沢駅 8:25 発快速急行新宿行最後尾車両乗車
中央林間下車、田園都市線に乗り換え 9:01 青葉台駅着下車 東急バス②番乗り場 9:20 発鴨志田団地行終点下車

持ち物 観察用具 弁当・飲み物 帽子 マスク等

解散 14:30 頃 田園都市線市が尾駅

担当・問い合わせ

藤山 0466-25-1817 飯島 045-803-9294

川名通年探鳥会

7月3日(日) 8:05~10:40 曇り一時晴れ

田中 正信

当日は史上最速の梅雨明けと季節外れの猛暑が続いた後の、戻り梅雨かとも思われる曇天で、集合前には小雨も降った中を探鳥会がスタートした。多くの鳥を期待できないこの季節だが、境川から柏尾川ではヒメアマツバメ、イワツバメ、ツバメと3種が飛び交う姿を見せてくれた。また6羽の雛鳥を引き連れたカルガモ一家が、川沿いを歩く我々と並んで水上を進んでくれた。カルガモ達は時々水面から背伸びして、垂直に建つ鋼矢板護岸を上れる箇所を探していた。

清水谷戸に入り、ウグイスやガビチョウの声が大きく響くが、野鳥の姿はほとんど見えない。代わってヒメウラナミジャノメ、ヤマトシジミ、ベニシジミ、テングチョウ、クロアゲハ等のチョウ類や、全身真っ赤なオスのショウジョウトンボが目を楽しませてくれた。

新林公園へ向かう路地上にカニの死骸があった。クロベンケイガニと思うが繁殖のため移動中に絶命したか、鳥に採餌されて運ばれる途中に落下したのかもしれない。野鳥の姿はあまり見られなかった今回の探鳥会だが、高温多湿の中、各自水分を補給しながら無事に終わることができた。

見聞きした鳥 スズメ、ムクドリ、トビ、カルガモ(幼鳥6羽連れ)、カワセミ、ハシボソガラ

ス、ウグイス、キジバト、イワツバメ、ヒメアマツバメ、ツバメ、ヒヨドリ、アオサギ、シジュウカラ、ハクセキレイ、メジロ、ハシブトガラス(17種)

外来種 ガビチョウ、ドバト(2種)

参加者 鍋田小百合、鍋田里奈、佐藤武、田中正信、青山喜行、谷誠一、森静子、飯島秀子、城殿博、小林弘子、嶋岡章、橋本孝、小室信幸、藤山素子(14名)

8月7日(日) 雨天中止

[参考]

8月7日(日) 9:15~10:30 雨天のち晴れ

藤山 素子

7時台は雨が降り中止と致しましたが、8時にはほぼ止み、集まった3名で歩いてみることにした。

新川名橋近辺ではたくさんのセミの抜け殻を発見、ヒメアマツバメが気持ちよさそうに上空を飛び、清水谷戸ではトンボ類、チョウ類、せせらぎではカエル(種は確認できず)がピョンと元気よく岸に上がっていた。

新林公園には行かず、そのまま駅に戻った。雨傘が杖に代わった雨あがり探鳥でした。

見聞きした鳥 スズメ、メジロ、ヒメアマツバメ、トビ、カワセミ、キジバト、コサギ、アオサギ、ハシブトガラス、イソヒヨドリ、ヒヨドリ、カワウ、ムクドリ、ウグイス(14種)

外来種 ガビチョウ(1種)

参加者 飯島秀子、谷誠一、藤山素子(3名)

表紙写真説明 2022年5月15日 東京港野鳥公園

5月の例会の時撮影したものです。シギ・チドリの観察は難しい。遠くて細かいところまで判別しにくい。東京港野鳥公園では近くに来てくれて良く見えた。帰宅してパソコンで大きくして見た。2羽入っていたが同じとは思えず城殿さんに確認した結果、手前が成鳥奥の海側は若鳥と判別しました。

嶋岡 章

大磯照ヶ崎探鳥会

7月17日(日) 7:40~9:30 雨のち曇り
青山 喜行

朝から雨で大磯駅に着いても降っていたが、5名の参加者で、傘を差しながら照ヶ崎へ移動し、風の強い中、時々飛んでくるアオバトを観察した。

そのうち雨が止み、風も弱くなったが、満潮の後の水面上の岩場が少ないこともあるのか、アオバトの滞在時間は短く、ざっくり100羽程度であった。途中ハヤブサが出たり、トビが魚をつかんで飛び去るなど見ながら1時間半ほど観察した。

夏の照ヶ崎としては暑くなかったので楽しかった。

見聞きした鳥 アオバト、アオサギ、ウミネコ、ハヤブサ、ツバメ、ヒヨドリ、トビ、スズメ(8種)(参考:ドバト)

参加者 青山喜行、飯島秀子、藤山素子、中田瑚春、中田匡也(5名)

藤沢探鳥クラブ 2022 年度講演会

「野鳥を知り、命、地域、地球を考える」

講師: 日本野鳥の会参与 安西英明氏

会場: 藤沢市民会館小ホール

8月21日(日)、恒例になりました夏の例会がコロナ禍中ではありましたが、無事開催されました。



藤沢探鳥クラブ会員34名、会員外58名合計92名の方々が、先生の野鳥たちの命の営み、生態などを、安西先生のジェスチャー、ご持参いただいた鳥の羽などを紹介いただきながら、楽しく熱心に耳を傾けました。

先生曰く、コロナの影響で参加者を前にお話しする機会が少なかったとの事、熱気にあふれ、もっと時間があつたらと思った2時間でした。(藤山記)

江の島探鳥会

7月8日(金) 晴れ 8:35~11:30

谷 誠一

海は波もなく静かですが、海の中がうねっているのか、岩に当たると大きい波しぶきが立ちます。ニイニイゼミが鳴いていましたが抜け殻は見つかりませんでした。鳥の数も少なくハヤブサは巣立ってここには居なくなったようです。クロサギが岩屋の上空を片瀬漁港方面へ飛んでいきました。狸3匹は毛が生え揃い大きくなっています。

見聞きした鳥 トビ、アオサギ、スズメ、ハシブトガラス、メジロ、ハクセキレイ、ウミネコ、クロサギ、ツバメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、

ハシボソガラス、オオセグロカモメ、カワウ、イソヒヨドリ (15種)

チョウ類 アサギマダラ、クロアゲハ、ジャコウアゲハ、カラスアゲハ、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、モンシロチョウ、クロヒカゲ、ウラギンシジミ、スジクロシロチョウ (10種)

参加者 城殿博、田中正信、高橋和也、藤山素子、大橋温子、森静子、田中一正、野崎直子、谷誠一 (9名)

※ 8月は休みました。

新林公園の山道を歩く会

7月12日(火) 9:00~12:15 曇り
大橋 温子

時折パラパラッと小さな雨粒を感じる中、二か月振りの山道はすっかり夏の様相でした。

ニイニゼミの声を耳にしながらかを歩を進めます。至る所で見られる白いヤブミョウガの花や青紫のアキノタムラソウの花が蒸し暑さを少し忘れさせてくれます。その間を多くの蝶が元気に飛び交い思わず足を止め目で追います。

ジャコウアゲハの優雅な舞い！

カラスアゲハの輝き変化する色合い！

緑濃い林の中の夏になんとなく心躍るのは私だけではないでしょう。鉄塔下あたりで泥のついていないきれいなセミの抜け殻を見つけました。これからが夏本番ですね。

ただ、期待した夏鳥には出会うことが出来ず残念でした。それでも林の中でコゲラが根気よくコンコンと木の幹をたたく音、湿地の

池には、家族でしょうか、五羽のカルガモ、大池奥に静かにたたずむ五、六羽のアオサギ。そしてなんとといってもオオタカを見られた人もいて鳥の世界も少し覗くことができました。加えてコース最後では今夏初めて聞くカナカナ…というヒグラシの短い一声！

新林公園の多様な夏風景を楽しめた半日となりました。

見聞きした鳥 ハシブトガラス、スズメ、メジロ、キジバト、ヒヨドリ、アオサギ、カルガモ、カワラヒワ、シジュウカラ、オオタカ、コゲラ、ウグイス (12種)

外来種：ガビチョウ、ドバト (2種)

[参考]見られたチョウ ジャコウアゲハ、カラスアゲハ、(ナミ)アゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、モンキアゲハ、ヒカゲチョウ、コジャノメ、ヒメジャノメ、ルリシジミ、スジクロシロチョウ、キタテハ、キタキチョウ、アカボシゴマダラ (14種)

参加者 大橋温子、田中正信、橋本孝、藤山素子 (4名)

8月9日(火) 9:00~12:00

田中 敬子

初参加でしたので知らないことばかり。蝉時雨の中、鳥の声はたまに遠くから聞こえる程度です。蝉の鳴き声の違いを教えてくださいました。せわしない鳴き声はクマゼミ、高い音で耳鳴りのように聞こえるのはニイニゼミ。ニイニゼミの抜け殻は泥が付いた小さなものであることを教わると、木の根元につやの無い小さな抜け殻、続けて近くの地面に穴が見つかりました。

植物に関しては、気になることがありました。まず、山の入り口で見つけたヨウシュヤマゴボウの実がいくつかJの字のように曲がっていたこと、さらに山の中でサクラと思われる木が大量の緑色の葉を落としていたこと。これにはベテランの参加者達も首をかしげていらっしやいました。連日の猛暑が影響しているのでしょうか、これは分からずじまいでした。

最後に、山を下りて鳥合わせを始める頃、アカゲラかコジュケイと思われる鳴き声が一瞬間こえましたが、判別ができなかったためカウントには入れていませんことをご報告致します。

見聞きした鳥 キジバト、ウグイス、スズメ、ハシボソガラス、トビ、ハクセキレイ (6種)

外来種：ガビチョウ、ドバト (2種)

参加者 田中正信、田中敬子、大橋温子、橋本孝、藤山素子 (5名)

遠藤笹窪谷観察会

7月23日(土) 晴れ 9:00~11:45

谷 誠一

7月16日にオープンした藤沢市「遠藤笹窪谷公園」と周辺の観察会をしました。

この公園(慶應大学バス停)は、慶応義塾大学看護医療学部と藤沢えびねやまゆり園の案内のぼりの前を通って行きます。公園は、ゴルフ場の1ホールの様です。

全体を森が囲いサテライトセンターを背にして芝生広場、遊水池、ここに橋が架かっています。橋を渡ると道は左側に菖蒲園、田ん

ぼ、芝生広場。右側は芝生の丘、その下を道に沿って小川が遊水池まで流れています。池や田んぼには、アメンボ、シオカラトンボ、赤とんぼ、ギンヤンマなどが飛び交っていました。

3年もの工事期間と植物削減で環境が変わり、鳥の数は少なく成りました。これから、野鳥が戻ってくるのが楽しみです。

見聞きした鳥 ウグイス、ツバメ、カワラヒワ、ヒヨドリ、キジバト、ホオジロ(幼鳥)、スズメ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、メジロ (10種)

参加者 大山厚子、浅野牧子、小林弘子、藤田正昭、近藤孝子、谷誠一 (6名)

運営委員会報告

運営委員会では、下記の議題について討議しました。

7月3日 講演会の詳細レジメの件など、今後の行事予定など

8月7日 8月の講演会実施詳細分担、四季報印刷所発注先変更の件、今後の行事予定など

行事等案内

※緊急事態宣言又はまん延防止等重点措置が藤沢又は探鳥地に掛かる場合原則中止になります。

川名通年探鳥会

毎月第一日曜日

10月2日(担当:橋本、未定)

11月6日(担当:藤山、未定)

集合時間 8:00 ※雨天中止
集合場所
JR 藤沢駅南口名店ビル前地下道入り口付近

江の島探鳥会

毎月第2金曜日 ※雨天中止
9月9日(金)・10月14日(金)
集合 8:30 解散 12:00頃
集合場所 江の島弁天橋を渡った左の公園藤
棚の下
連絡先 谷 0466-34-0381

遠藤笹窪谷観察会

9月24日(土) ※雨天中止
集合 9:00 解散 12:00頃
集合場所 慶應大学バス停(旧スルガ銀行前
(現在、駐車場になっています。))
連絡先 谷 0466-34-0381

新林公園の山道を歩く会

毎月第2火曜日 ※雨天中止
9月13日(火)・10月11日(火)
集合 9:00 新林公園パーゴラの下
解散 12:00頃 同上
連絡先 橋本孝 0467-85-6077

年会費について

年間 二千元です。納入されるときにはお
間違えないようにお願いします。

会費振込先; 郵便為替口座番号
00230-2-38355 藤沢探鳥クラブ
郵便局以外の銀行から振り込む場合は、
ゆうちょ銀行029店 当座0038355
フジサワタンチョウクラブ

なお、探鳥会で現金でも受付ける事になり
ましたのでよろしくお願いします。

ご寄附のお願い

当クラブの活動運営のためにご支援をお願い
致します。

※1,000円以上ご寄付くださった方には、藤
沢探鳥クラブ特製のクリアファイルをプレゼ
ントいたします。

(ファイルがなくなるまで!)

藤沢探鳥クラブ連絡先等

藤山 素子 0466-25-1817

HP アドレス;

<https://fujsbwc.iimdfree.com/>



ホームページのQRコード
です。スマホなどから読み
取ってご覧ください。

今年の夏は、異常な暑さで外出する
際に二の足を踏むことが度々です。残
暑も続きそうです。秋にはコロナ対
策、暑さ対策に留意して出かけましょ
う。

投稿先を下記します

皆様のご協力をお願いします

嶋岡 章(原稿)

〒251-0052 藤沢市藤沢 545-72-401

e-mail: akiras.shimaoka@gmail.com

電話/FAX 0466-50-5816

青山 喜行(写真)

〒252-0816 藤沢市遠藤 930-5

e-mail: aoyama-y@jcom.home.ne.jp